

**80th**  
Anniversary  
TACHIKAWA CORPORATION

おかげさまで  
創業80周年を迎えます

# タチカワレポート

## 第72期 期末報告

平成29年 1 月 1 日

▼  
平成29年 12月 31日

 **立川ブラインド工業株式会社**  
証券コード：7989



おかげさまで

タチカワブラインドは創業80周年を迎えます。

インテリア産業の一翼を担う企業として、

これからも時代を先駆ける活動を展開してまいります。

代表取締役社長 **立川光威**

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平成30年5月30日、当社は創業80周年を迎えます。

これもひとえに、日頃よりご愛顧を頂いております皆様方のご支援の賜物と、厚く御礼申し上げます。

さて、当社は平成29年12月31日をもって第72期（平成29年1月1日から平成29年12月31日まで）が終了しましたので、ここに事業の概況をご報告申し上げます。

今後とも株主の皆様の一層のご支援ご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

平成30年 3月

### 経営の基本方針

当社グループは、ブラインド類・間仕切類を事業の核とするインテリアメーカーとして、また、長年培ってきた歯車技術を活かした機械式立体駐車装置、減速機メーカーとして今日に至っております。

その時代の要請に応え、お客様の信頼を得ることを第一に、国内外の多様な要望に応えることのできる製品の研究開発・生産の充実と高品質なサービスの提供により、生活環境の改善を図り、皆様の期待に応えることを経営の基本方針としております。

### CONTENTS

経営者から皆様へ	1
営業の概況	2
セグメント別概況	3
当社グループの事業展開	4
創業80周年の歩み	5
New Products & Topics	7
Topics	9
ショールームのご案内	10
連結・単体財務諸表（要旨）	11
会社の概要	13
株式情報	14
株式についてのご案内	

当連結会計年度におけるわが国経済は、企業収益および雇用環境の改善等を背景に緩やかな回復基調が続いているものの、個人消費は力強さを欠くなど先行き不透明な状況で推移しました。

当社グループ関連の建設・住宅業界においては、各種政策効果による下支えが続いたものの、新設住宅着工戸数は勢いに鈍化が見られるなど厳しい環境が続きました。

このような環境の下、室内外装品関連事業においては、顧客満足度の高い製品の開発および新製品の市場浸透を促進するとともに、コスト低減活動や生産性の向上を継続し、収益改善に取り組んでまいりました。

また、駐車場装置関連事業においては、主力製品である「パズルタワー」に重点を置いた営業を図り、コスト競争力の強化を推進し、収益改善に努め、減速機関連事業においては、保有技術を活かした製品開発に取り組み、特殊製品による成長分野への積極的な提案営業を行い、受注獲得に努めてまいりました。

以上の結果、売上高は40,105百万円（前期比1.9%増）、営業利益は3,643百万円（前期比27.0%増）、経常利益は3,714百万円（前期比27.0%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は2,281百万円（前期比31.0%増）となりました。

### 業績の見通し

今後の見通しとしては、個人消費や住宅着工など、経営環境は予断を許さない状況が続くものと予想されます。

当社グループといたしましては、引き続き魅力的な製品の開発による需要創造とお客様の視点に立った事業展開に取り組んでまいります。中長期の展望では、リフォーム需要やホテル需要、海外市場など成長分野への取り組みを強化し、競争力の強化に努めてまいります。

以上のように、当社グループは常にお客様に信頼され支持して頂ける企業を目指し、事業に邁進してまいります。

なお、次期の業績につきましては、売上高41,400百万円、営業利益3,750百万円、経常利益3,820百万円、親会社株主に帰属する当期純利益2,330百万円を見込んでおります。

### 期末配当金について

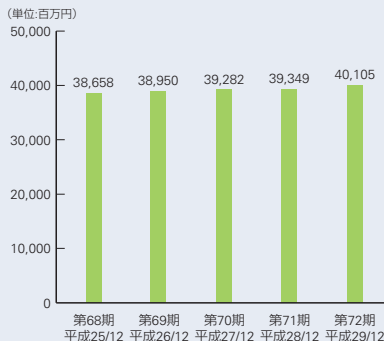
当社は、財務基盤の強化と高収益性の実現による持続的成長の為、内部留保を充実させ将来の事業展開に備えるとともに、企業価値・株主価値を向上させることを目的として、安定配当を維持するとともに、業績目標の達成度に応じた配当を適宜判断し行う方針としております。

当期の期末配当金につきましては、1株につき5円の普通配当に、当期の業績が利益面において当初予想を上回ったことを踏まえ、特別配当を加え、1株につき10円とし、中間配当金5円と合わせて年間配当金は1株につき15円とさせていただきます。

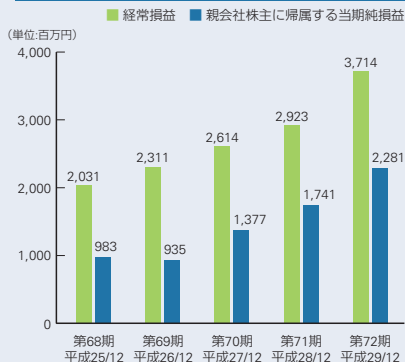
また、次期配当金につきましては、安定配当とともに、業績目標の達成度に応じた配当を予定しております。

## 財務ハイライト

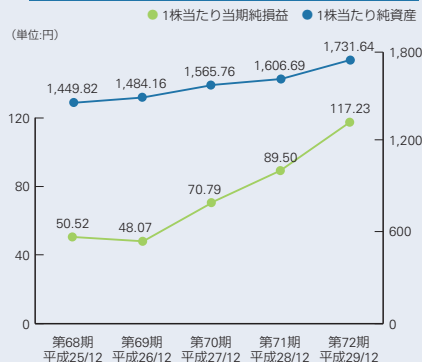
### 売上高



### 経常損益・親会社株主に帰属する当期純損益



### 1株当たり当期純損益・1株当たり純資産

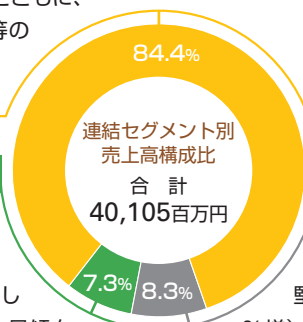
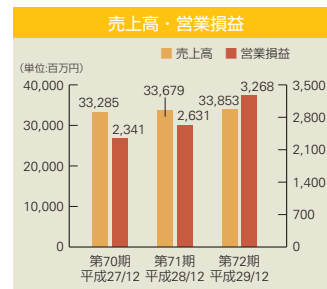


## 室内外装品関連事業 33,853百万円

ブラインドの昇降コードを通す穴をスラット(羽根)中央部からなくし、両端部だけに設けることで、光漏れと直射光の侵入を低減したヨコ型ブラインド『シルキーシェイディ』を発売したほか、生地巻き取り部などを隠して直射光を遮る「シールド」を装備したロールスクリーン『ラルクシールド』に、製品本体と「シールド」の端部を覆う「サイドカバー」を標準装備し、意匠性を向上させました。

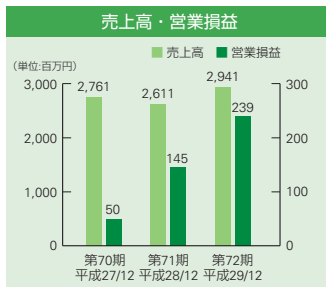
また、高い遮蔽性を持ち、ワンタッチ操作でブラインドがゆっくりと下降する機能を搭載したヨコ型ブラインド『パーフェクトシルキー』など、付加価値の高い製品の開発・販売に注力し、顧客満足度の向上と市場拡大に取り組むとともに、全国において新製品発表会を開催し、新製品等の早期市場浸透に取り組んでまいりました。

以上により、売上高は33,853百万円(前期比0.5%増)となり、営業利益につきましては、コスト低減活動等による収益改善に努めた結果、3,268百万円(前期比24.2%増)となりました。



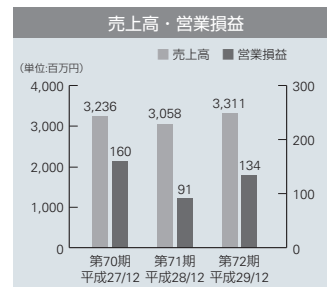
## 駐車場装置関連事業 2,941百万円

ビジネスホテル、マンション、都市再開発案件において受注が伸長したことにより、売上高は2,941百万円(前期比12.6%増)となりました。営業利益につきましては、資材価格等の上昇傾向が続くなか、選別受注と原価低減活動に取り組み239百万円(前期比65.1%増)となりました。



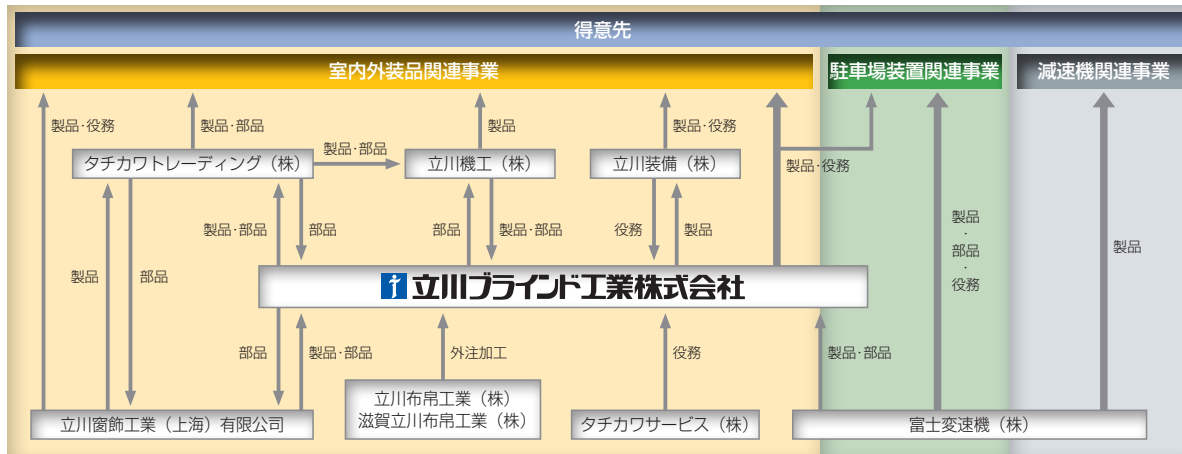
## 減速機関連事業 3,311百万円

国内外の設備投資動向が軟調に推移するなか、特殊減速機やシャッター開閉機等の受注が堅調に推移し、売上高は3,311百万円(前期比8.3%増)となりました。営業利益につきましては、継続的な原価低減活動に努めたことで134百万円(前期比47.3%増)となりました。



当社グループ（連結会社）は、当社および子会社8社で構成され、室内外装関連製品、機械式立体駐車装置等の製造販売およびそれらの設計施工を主な内容とし、さらに各事業に関連するサービス等の事業活動を展開しております。

■ 事業の系統図



(注) 富士変速機(株)は名古屋証券取引所に上場しております。

■ 主なグループ会社

立川機工株式会社	立川装備株式会社	富士変速機株式会社
本社所在地：千葉県山武市	本社所在地：東京都渋谷区	本社所在地：岐阜県岐阜市
資本金：3億円	資本金：3億円	資本金：25億750万円
事業内容：ブラインド、間仕切等の部品 およびカーテンレールの製造販売	事業内容：ブラインド、間仕切等の据付 および関連製品の販売	事業内容：変速機、減速機、立体駐車装置 および間仕切の製造販売

■ 中長期的な会社の経営戦略

当社グループでは、厳しい経営環境下においても安定した収益を計上できる事業体制の構築に向け、以下の項目を重点戦略としております。

① 既存事業領域の深耕

当社グループの主要な収益源である室内外装関連事業において、お客様の視点に立った新製品開発や営業活動に注力し、高性能製品による需要創造やリフォーム市場への取り組みを強化することで、既存事業領域を深耕する。

② 成長分野への取り組み強化

中長期的な国内市場の縮小が見込まれるなか、外国人観光客の増加により活性化しているホテル需要に加え、海外市場など成長分野への取り組みを強化する。

③ 生産体制の強化

減速機関連事業、駐車場装置関連事業においては、生産リードタイムの短縮、工場稼働率の向上を図り、顧客対応力を強化する。

④ 経営資源の整備

将来に亘り安定的な収益基盤を構築するため、事業拠点や生産設備といった経営資源を計画的に整備していくとともに、人材育成に注力する。



## 時代とともに、お客さまとともに —モノづくりの原点を見つめ続けて—

創業者立川孟美が、出身地・新潟から上京して就職したのは染物屋でした。就いた仕事は、松やにや、でんぷんを混ぜて作った糊を綿布などに塗り、本の表紙や布製ブラインドに使う布製品を仕上げるものでした。ここで培われた技術と信頼をもとに、2年後の1938（昭和13）年、「立川工業所」を設立。今日の立川ブラインド工業創業の瞬間です。

間もなく日本は戦渦に巻き込まれ、終戦後、東京は廃墟と化しました。しかし、進駐軍からブラ

### 会社の沿革

#### 昭和

13年5月  
立川孟美が東京都台東区柳橋に有限会社立川工業所を創業。

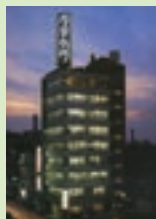
22年10月  
社名を立川ブラインド工業株式会社と改称。(写真A)

29年8月  
本社を東京都文京区湯島に移転。(写真B)

32年3月  
大阪営業所を開設。以降昭和41年まで10都市に営業所を開設し、全国主要都市への進出を図る。



写真A



写真B

42年11月  
部品およびカーテンレール製造を目的に、現在の立川機工株式会社（連結子会社）を設立。

43年5月  
滋賀県愛知郡に新工場（滋賀工場）を建設。全製品の一貫集中生産を開始。

44年4月  
昭和51年にかけて全国主要都市に43営業所を開設。

49年4月  
銀座ショールームを開設。(写真C)

49年5月  
新潟県北蒲原郡（阿賀野市）に新潟工場を建設。全国の生産拠点を滋賀工場と二分化。(写真D)



写真C



写真D

50年1月  
受注から生産、出荷までコンピュータの全国オンライン化。(写真E)

51年3月  
富士変速機株式会社（連結子会社）と業務および資本提携。

54年11月  
北海道地区の生産拠点として、札幌製作所を建設。

55年10月  
九州地区の生産拠点として、福岡製作所（飯塚市）を建設。

5. 13 22 29 32 35 36 37 38 39 40 41 ... 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 ... 57 58 59

### 代表的な製品の発売年度表

● 布製・木製ブラインド



● モノコム  
● パーチカルブラインド

● インテリアブラインド シルキー



● コンホルト シルキーカーテン  
● ルミスター

● ローリーESS

● 断熱ブラインド

● ローリーESD

● ルミナス25

● ラインドレープ

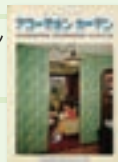
### ブラインド類

● ジュラルミン製ブラインド



● ハーモニードア

● アコーデオンカーテン



● スライディングドア50

● アコウォール

● スライディングドア100

### 間仕切り類

### その他

● V<sub>2</sub>レール

● V<sub>17</sub>レール

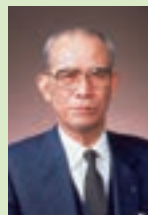
● V<sub>20</sub>レール

インドの注文が殺到。ブラインドは欧米の人々にとって生活の一部だったので。手工業では製造が間に合わないほどの需要で、工業製品としての事業化の契機となりました。

1950（昭和25）年頃から高度経済成長が始まり、官民のビル建築ラッシュや、生活様式の洋風化により、ブラインドに対するニーズは、さらに高まってきました。中でも、創業者が一般住宅への普及を視野に入れ、情熱を注ぎ、1971（昭和46）年に発売した『シルキー』は、インテリア性を重視した日本

初の25mm幅アルミ圧延スラット(羽根)採用により、大ヒット商品となりました。わずか数色ながら、当時は画期的なカラーラインナップで注目を集め、現在もその商品ブランドは、当社の主力の一つです。

時代とともに、人々の暮らしとともに、地道で誠実に取り組んできたモノづくり。快適さを追求し続け、社である「仕事には細心であれ、視野は広大であれ、理想は高遠であれ」の創業者の精神は、今も受け継がれています。



創業者 立川 孟夫



全国オンラインが実現した電算システム稼働式

写真E

59年12月  
室内外装品の設計、施工および販売を目的に、立川装備株式会社(連結子会社)を設立。

62年10月  
東京証券取引所市場第2部に株式を上場。

63年10月  
ファブリック製品生産の足掛かりとして、立川布帛工業株式会社(連結子会社)を設立。

平成

元年6月  
中国、四国地方の生産拠点として、広島製作所(呉市)を建設。

3年2月  
滋賀立川布帛工業株式会社(連結子会社)を設立。

8年9月  
製品の大型化・電動化に対応するため、滋賀工場内に高層生産棟を建設。

11年5月  
仙台、名古屋にショールームを開設。以降、高松、大阪にも開設し、ホームユース市場への浸透を図る。

12年12月  
2000年版ISO9001全社範囲にて認証を取得。

14年7月  
中国上海市に立川窗飾工業(上海)有限公司(連結子会社)を設立。

14年9月  
ISO14001新瀧工場にて認証を取得。翌年、滋賀工場へ認証拡大。

17年5月  
本社を東京都港区三田に移転。(写真F)

21年11月  
大阪支店新社屋を建設。

23年11月  
中国上海に上海ショールームを開設。

25年3月  
新宿ショールームを開設。

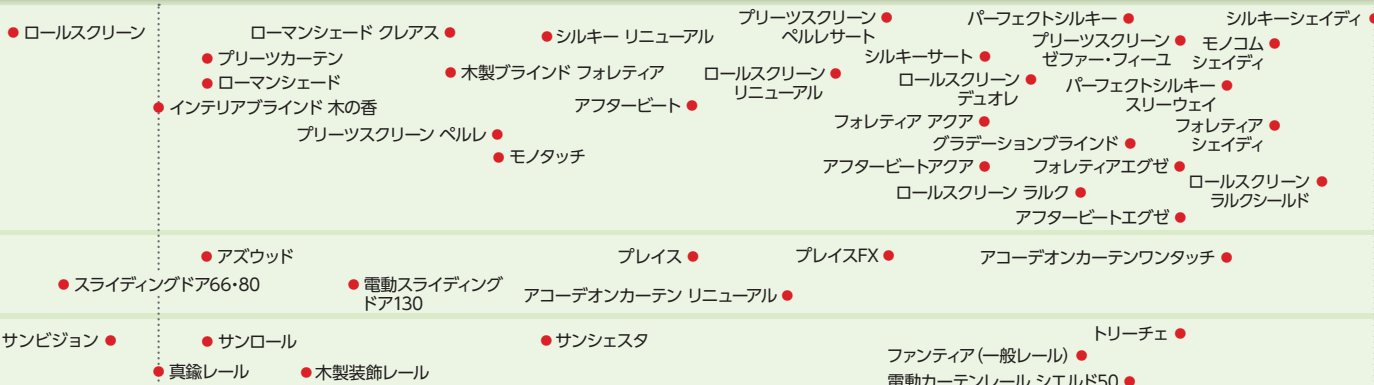
27年7月  
東京証券取引所市場第1部に指定。

28年11月  
広島ショールームを開設。



写真F

60 61 62 63 H.01 02 ... 07 08 09 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29



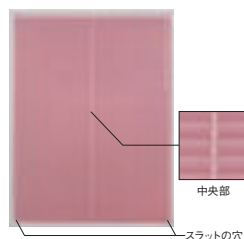
平成29年に発売した新製品やトピックスをご紹介します。

## 7月 スラット(羽根) 中央部の穴をなくし、光漏れを低減したヨコ型ブラインド『シルキーシェイディ』

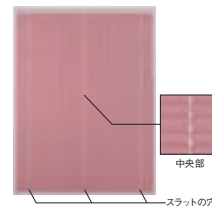
スラットの穴が中央部にはなく、両端部のみにあるため、全閉時の光漏れと直射光の侵入を低減。また、スラットの両端から3cmのところにある穴があることで、穴を通るコードを境目にして、スラットが折れにくくなりました。



シルキーシェイディ



一般のブラインド



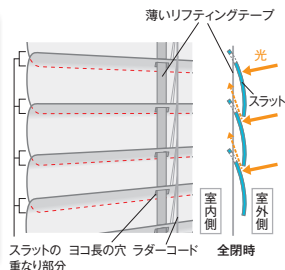
## 1月 ヨコ型ブラインド『モノコムシェイディ』より大きな窓に対応するサイズで製作可能に

### ■ 製品高さを400cmまで拡大し、オフィスなどの大きな窓に対応

今回、製作可能な高さを400cm (従来は280cm) まで拡大したことで、近年増加している天井高が高く、開放感のあるオフィスビルや商業施設などの窓に対し、より最適な提案が可能となりました。

### ■ リフティングテープの採用で高い遮蔽性をもつ『モノコムシェイディ』

『モノコムシェイディ』は、スラット穴からの光漏れを低減し、遮蔽性を高めた高機能ブラインドとして2015年に発売しました。ブラインド全閉時にスラット同士が重なる位置に、スラットのリフティングテープの穴を設けることで、光漏れを低減。リフティングテープの採用で、全閉時のスラット角度を垂直に近づけることにより、高い遮蔽性を実現しています。



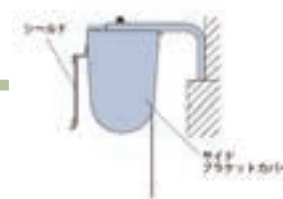
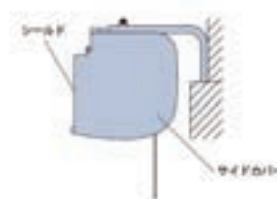
## 4月 ロールスクリーン『ラルクシールド』正面付けに「サイドカバー」を標準装着

ロールスクリーン『ラルクシールド』の正面付けに、製品本体とシールドの端部を覆う「サイドカバー」を発売。シールドと製品本体の一体感を高めることで、側面からの意匠性向上に加え、正面からもよりすっきりした意匠になりました。サイドカバーは、シールドと同色の4色 (オフホワイト・ベージュ・ダークブラウン・ブラック) をラインナップ。

### 新仕様：「サイドカバー」



従来：サイドブラケットカバー





## 7月 ヨコ型ブラインド「パーフェクトシルキー」「シルキーシェイディ」「シルキー」 製品幅 5mm 単位 製作対応開始

ヨコ型ブラインド「パーフェクトシルキー」「シルキーシェイディ」「シルキー」におきまして、7月3日より製品幅5mm単位での製作対応を開始いたしました。

より細かなサイズで製作対応できるので、きれいに窓に納めることができます。また、窓枠内への取付けの際に、窓枠と製品のすき間が少なく光漏れを軽減できます。

### Topics

#### 窓まわりにおすすめの製品を1冊にまとめたサンプル帳『窓まわりセレクション』登場

『窓まわりセレクション』は、ロールスクリーン「ラルクシールド」、タテ型ブラインド「ラインドレープ」、プリーツスクリーン「ペルレ」、ヨコ型ブラインド「シルキー」の窓まわり4製品を1冊にまとめた新しいサンプル帳。さまざまなシーンや用途に合わせたトータルコーディネートをご提案しています。



#### 全国24会場にて新製品発表会を開催

5月18日～8月8日の期間、22都道府県24会場で「2017年タチカワブラインド新製品発表会」を開催しました。

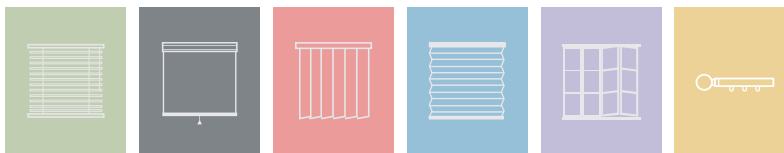
当発表会では、「+ONE～ナルホド!で見つかる理想の空間づくり～」をテーマに、おすすめ製品のそれぞれの特長や使用用途の展示、また提案の幅を広げられる販促ツールの紹介など「プラスワン」な情報を提案しました。

2017年 タチカワブラインド

### 新製品発表会

**+ONE**

～ナルホド!で見つかる理想の空間づくり～



## 株主様ご優待

株主の皆様の日頃のご支援にお応えするとともに、当社株式への投資の魅力を高めることを目的として、株主優待制度を実施しております。

当社の株式を300株以上ご所有いただきますと、年に1回所有株式数・保有期間に応じたクオカードを贈呈しております。

また、平成26年6月末基準日より株主優待制度を拡充し、当社製品ご購入後に1台あたり2,000円分のクオカードを贈呈する優待制度を実施しております。

### ① オリジナルクオカードの贈呈（300株以上保有の株主様）

基準日：12月末日（年1回）

所有株式数・保有期間に応じて、オリジナルクオカードを以下の通り贈呈いたします。

所有株式数	保有期間	3年未満	3年以上
300株以上 500株未満		1,000円分	1,500円分
500株以上 1,000株未満		2,000円分	2,500円分
1,000株以上		3,000円分	4,000円分



【優待内容】クオカード（イメージ）

### ② 当社対象製品ご購入優待（100株以上保有の株主様）

基準日：6月末日・12月末日（年2回）

当社製品をご購入いただいた株主の皆様へ所有株式数・購入台数に応じて、以下の通り贈呈いたします。

所有株式数	優待内容
100株以上 300株未満	当社製品購入1台まで、1台あたりクオカード2,000円分贈呈
300株以上 500株未満	当社製品購入2台まで、1台あたりクオカード2,000円分贈呈
500株以上 1,000株未満	当社製品購入3台まで、1台あたりクオカード2,000円分贈呈
1,000株以上	当社製品購入5台まで、1台あたりクオカード2,000円分贈呈

当社製品ご購入  
1台あたり  
クオカード  
**2,000円分  
贈呈**



【優待内容】クオカード（イメージ）

タチカワブランド  
銀座スペース

## Atte イベント開催情報

当社のデザイン・文化・芸術活動支援の一環として、これらに携わる方々の研究・作品等を情報発信する多目的スペースとしてご活用いただく事を目的に、タチカワ銀座ショールーム地下1階にAtte(アットエ)を開設しています。

### 平成29年 開催した主なイベント

- 「江戸を学ぶ 江戸料理あれこれ」
- 東京の木で家を作る会「無垢の木の家づくり」
- 第33回能楽金春祭り「能楽講座」
- FASHION STYLING RECORD～女性を彩るスタイリストの仕事
- 大森 祥吾 油彩画展

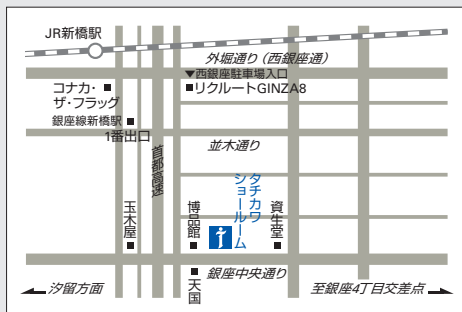


G I N Z A

# 銀座

## タチカワショールーム

タチカワ銀座ショールームでは、お客様にご満足頂けるよう、豊富なインテリアの知識をもったスタッフが、新製品の紹介をはじめ新しいコーディネート提案など、窓辺に限らずインテリアのいろいろな可能性をお伝えしています。ご相談の予約は下記で承っておりますので、お気軽にお電話下さい。

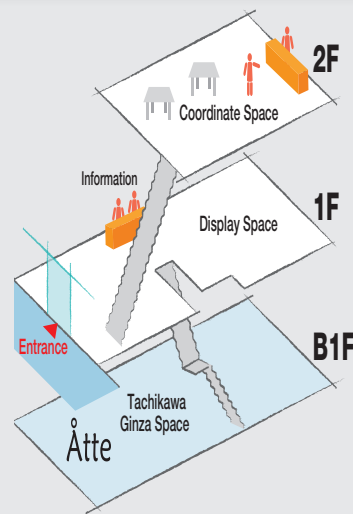


〒104-0061 東京都中央区銀座8-8-15 青柳ビル  
TEL (03) 3571-1373

営業時間 10:00~18:00 定休日 月曜・祝日(土日曜除く)  
JR・銀座線新橋駅より徒歩5分 銀座4丁目交差点より徒歩8分

### ショールーム一覧

新宿ショールーム	東京都渋谷区代々木2-16-4 タチカワ新宿ビル TEL (03) 3375-7071 定休日 水曜・祝日(土日除く) 営業時間 10:00~18:00
札幌ショールーム	北海道札幌市中央区南3西12-325-3 3F 定休日 土曜・日曜・祝日 営業時間 10:00~17:00
仙台ショールーム	宮城県仙台市青葉区宮町5-1-12 TEL (022) 275-1311 定休日 土曜・日曜・祝日 営業時間 10:00~17:00
信越ショールーム	新潟県新潟市東区大形本町1-2-23 TEL (025) 270-8111 定休日 土曜・日曜・祝日 営業時間 10:00~17:00
横浜ショールーム	神奈川県横浜市中区大通15 2F TEL (045) 662-0838 定休日 土曜・日曜・祝日 営業時間 10:00~17:30



Display  
ディスプレイ



Consulting  
コンサルティング



Simulation  
シミュレーション



製品や生地の実物サンプルを豊富にご用意しています。また、テストングウィンドウでは製品に太陽光を通したときの印象をシミュレーション頂けます。

名古屋ショールーム	愛知県名古屋市中区栄3-4-4 3F TEL (052) 532-5085 定休日 日曜・祝日 営業時間 9:00~17:30
金沢ショールーム	石川県金沢市東力4-181 TEL (076) 291-1146 定休日 土曜・日曜・祝日 営業時間 10:00~18:00
大阪ショールーム	大阪府大阪市北区中津2-3-5 2F TEL (06) 6374-1813 定休日 日曜・祝日 営業時間 10:00~17:30
高松ショールーム	香川県高松市木太町六区2662-1 TEL (087) 837-2720 定休日 土曜・日曜・祝日 営業時間 10:00~17:00
広島ショールーム	広島県広島市南区東雲本町3-1-31 定休日 土曜・日曜・祝日 営業時間 10:00~17:30
上海ショールーム	上海市徐匯区宜山路290号 TEL +86-21-5396-6803

連結財務諸表（要旨）

■ 総資産

当連結会計年度末の総資産は51,448百万円で、前連結会計年度末と比較し2,282百万円の増加。

流動資産は34,083百万円で、前連結会計年度末と比較し2,319百万円の増加。主に、現金及び預金、受取手形及び売掛金が増加したことによるものです。

固定資産は17,364百万円で、前連結会計年度末と比較し36百万円の減少。主に、保有株式の株価上昇により投資有価証券が増加した一方、有形固定資産、無形固定資産が減価償却により減少したことによるものです。

■ 負債

負債は13,446百万円で、前連結会計年度末と比較し192百万円の減少。主に、支払手形及び買掛金が増加した一方、退職給付に係る負債が減少したことによるものです。

■ 純資産

純資産は38,001百万円で、前連結会計年度末と比較し2,474百万円の増加。主に、親会社株主に帰属する当期純利益計上により利益剰余金が増加したことや、退職給付に係る調整累計額が増加したことによるものです。なお、自己資本比率は65.5%と、前連結会計年度末と比較し1.9ポイントの増加。

■ キャッシュ・フローの状況

現金及び現金同等物の期末残高は、12,442百万円。営業活動、投資活動、財務活動によるキャッシュ・フロー等の合計が1,924百万円増加したことによるものです。

【営業活動】

営業活動による資金は、2,940百万円の増加。税金等調整前当期純利益3,709百万円に対し、法人税等の支払額1,192百万円、売上債権の増加額685百万円等による減少があった一方で、減価償却費742百万円等による増加があったことによるものです。

【投資活動】

投資活動による資金は、632百万円の減少。主に、有形固定資産の取得による支出550百万円等があったことによるものです。

【財務活動】

財務活動による資金は、385百万円の減少。主に、リース債務の返済による支出48百万円、配当金の支払336百万円等によるものです。

連結貸借対照表

(単位：千円) (単位：百万円)

科目	当期 平成29年12月31日現在	前期 平成28年12月31日現在	増減
<b>資産の部</b>			
流動資産	34,083,752	31,764,169	2,319
固定資産	17,364,315	17,401,150	△ 36
<b>資産合計</b>	<b>51,448,068</b>	<b>49,165,319</b>	<b>2,282</b>
<b>負債の部</b>			
流動負債	10,036,717	9,963,800	72
固定負債	3,410,124	3,675,130	△ 265
<b>負債合計</b>	<b>13,446,842</b>	<b>13,638,931</b>	<b>△ 192</b>
<b>純資産の部</b>			
株主資本	33,300,376	31,312,375	1,988
資本金	4,475,000	4,475,000	-
資本剰余金	4,395,016	4,395,016	-
利益剰余金	25,099,889	23,110,538	1,989
自己株式	△ 669,529	△ 668,179	△ 1
その他包括利益累計額	395,492	△ 45,979	441
非支配株主持分	4,305,357	4,259,992	45
<b>純資産合計</b>	<b>38,001,226</b>	<b>35,526,387</b>	<b>2,474</b>
<b>負債・純資産合計</b>	<b>51,448,068</b>	<b>49,165,319</b>	<b>2,282</b>

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科目	当期 平成29年1月1日から 平成29年12月31日まで	前期 平成28年1月1日から 平成28年12月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,940,013	2,461,225
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 632,674	△ 362,021
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 385,836	△ 415,971
現金及び現金同等物に係る換算差額	3,252	△ 14,050
現金及び現金同等物の増加額(△減少額)	1,924,754	1,669,181
現金及び現金同等物の期首残高	10,517,738	8,848,557
<b>現金及び現金同等物の期末残高</b>	<b>12,442,493</b>	<b>10,517,738</b>

連結株主資本等変動計算書

当 期 平成29年1月1日から 平成29年12月31日まで	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
平成29年1月1日残高	4,475,000	4,395,016	23,110,538	△ 668,179	31,312,375
連結会計年度中の変動額					
剰余金の配当			△ 291,899		△ 291,899
親会社株主に帰属する当期純利益			2,281,250		2,281,250
自己株式の取得				△ 1,350	△ 1,350
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額(純額)					
連結会計年度中の変動額合計	-	-	1,989,351	△ 1,350	1,988,000
平成29年12月31日残高	4,475,000	4,395,016	25,099,889	△ 669,529	33,300,376

## 単体財務諸表（要旨）

## 連結損益計算書

(単位：千円)

科目	当期	前期
	平成29年 1月 1日から 平成29年12月31日まで	平成28年 1月 1日から 平成28年12月31日まで
売上高 (前期比)	40,105,777 (+1.9%)	39,349,514 (+0.2%)
売上原価	22,683,764	22,406,387
売上総利益	17,422,013	16,943,127
販売費及び一般管理費	13,778,796	14,075,313
営業利益 (前期比)	3,643,216 (+27.0%)	2,867,814 (+12.3%)
営業外収益	172,195	168,425
営業外費用	101,302	112,329
経常利益	3,714,109	2,923,909
特別利益	364	123,744
特別損失	4,655	27,787
税金等調整前当期純利益	3,709,818	3,019,866
法人税、住民税及び事業税	1,334,175	1,105,443
法人税等調整額	△ 15,415	100,795
当期純利益	2,391,058	1,813,626
非支配株主に帰属する当期純利益	109,807	71,891
親会社株主に帰属する当期純利益	2,281,250	1,741,735

## セグメント情報

(単位：千円)

当期	室内外装品 関連事業	駐車場装置 関連事業	減速機 関連事業
平成29年 1月 1日から 平成29年12月31日まで			
売上高 (前期比)	33,853,632 (+0.5%)	2,941,085 (+12.6%)	3,311,059 (+8.3%)
営業利益 (前期比)	3,268,725 (+24.2%)	239,848 (+65.1%)	134,642 (+47.3%)

(単位：千円)

その他の包括利益累計額					非支配株主持分	純資産合計
その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	為替換算 調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括 利益累計額合計		
522,366	5,983	40,760	△ 615,090	△ 45,979	4,259,992	35,526,387
						△ 291,899
						2,281,250
						△ 1,350
135,459	△ 3,472	8,054	301,430	441,472	45,365	486,837
135,459	△ 3,472	8,054	301,430	441,472	45,365	2,474,838
657,825	2,511	48,814	△ 313,659	395,492	4,305,357	38,001,226

## 貸借対照表

(単位：千円)

科目	当期	前期
	平成29年12月31日現在	平成28年12月31日現在
<b>資産の部</b>		
流動資産	22,622,679	21,016,373
固定資産	14,142,173	13,860,683
資産合計	36,764,853	34,877,056
<b>負債の部</b>		
流動負債	7,544,037	7,554,356
固定負債	2,415,414	2,291,156
負債合計	9,959,452	9,845,512
<b>純資産の部</b>		
株主資本	26,159,113	24,554,233
資本金	4,475,000	4,475,000
資本剰余金	4,395,016	4,395,016
利益剰余金	17,958,626	16,352,395
自己株式	△ 669,529	△ 668,179
評価・換算差額等	646,287	477,311
純資産合計	26,805,401	25,031,544
負債・純資産合計	36,764,853	34,877,056

## 損益計算書

(単位：千円)

科目	当期	前期
	平成29年 1月 1日から 平成29年12月31日まで	平成28年 1月 1日から 平成28年12月31日まで
売上高	31,660,336	31,601,961
売上原価	17,354,625	17,604,806
売上総利益	14,305,711	13,997,155
販売費及び一般管理費	11,742,790	11,867,320
営業利益	2,562,921	2,129,834
営業外収益	452,033	468,698
営業外費用	157,931	159,467
経常利益	2,857,023	2,439,066
特別利益	437	108,560
特別損失	1,588	26,091
税引前当期純利益	2,855,871	2,521,535
法人税、住民税及び事業税	999,913	813,104
法人税等調整額	△ 42,171	118,543
当期純利益	1,898,130	1,589,887



## ■ 会社の概要

社名	立川ブラインド工業株式会社
英文社名	TACHIKAWA CORPORATION
創業	昭和13年5月
設立	昭和22年10月
資本金	44億7,500万円
国土交通大臣許可	内装仕上工事業(般-27)第5037号 建具工事業(般-27)第5037号 機械器具設置工事業(般-27)第5037号 建築工事業(特-27)第5037号
上場取引所	東京証券取引所 市場第1部
証券コード	7989
本社所在地	東京都港区三田三丁目1番12号
電話	(03) 5484-6140
ホームページアドレス	http://www.blind.co.jp
従業員数	連結1,168名 単体750名 ※パート・契約社員等を除く

## ■ 営業品目

区分	品目の内容
ブラインド類	ベネシャン(横型)ブラインド、 パーチカル(縦型)ブラインド、 天窓用ブラインド、ロールスクリーン等
間仕切類	アコーディオン式間仕切、パネル式間仕切
その他	カーテンレール、製品取付、その他

## ■ 連結会社

国内	
富士変速機株式会社 岐阜県岐阜市中洲町18	タチカワトレーディング株式会社 東京都港区三田3-1-12
立川機工株式会社 千葉県山武市松ヶ谷口2687	タチカワサービス株式会社 東京都港区三田3-1-12
立川装備株式会社 東京都渋谷区代々木2-16-4	
立川布帛工業株式会社 新潟県五泉市今泉709-1	
海外	
滋賀立川布帛工業株式会社 滋賀県愛知郡愛荘町東円堂923-1	立川窗飾工業(上海)有限公司 上海市嘉定区葉城路1630号

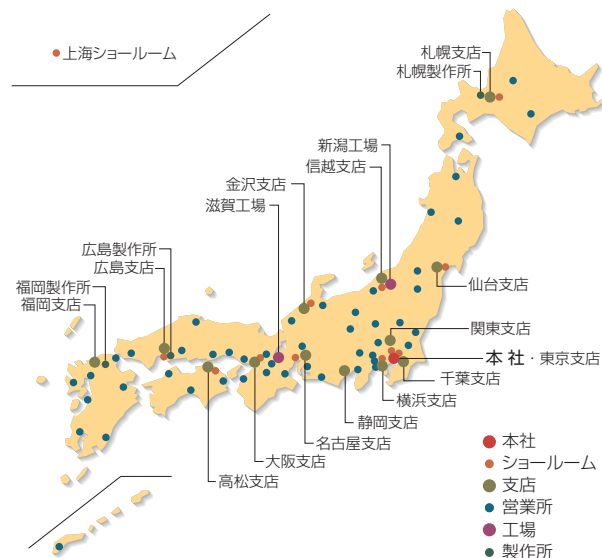
## ■ 取締役および監査役 (平成30年3月29日現在)

代表取締役社長	立川光威
常務取締役	竹中伸也
取締役	八角和
取締役	藤田達之
取締役	安部田武久
取締役	蓮井隆之
取締役	栗原斉
取締役	山岸万人
取締役	坪井節子※1
常勤監査役	嘉村成人
監査役	高橋勇三※2
監査役	杉原麗※2

(注) ※1 取締役のうち坪井節子氏は社外取締役であります。

※2 監査役のうち高橋勇三および杉原麗の両氏は、社外監査役であります。

## ■ 当社ネットワーク



■ 株式の状況

発行可能株式総数	40,000,000株
発行済株式の総数	20,763,600株
株主数	5,892名

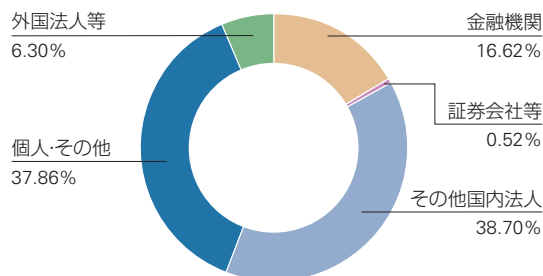
大株主および持株数(上位10名)

株主名	持株数(千株)	議決権比率(%)
有限会社立川恒産	4,117	21.20
タチカワブラインド取引先持株会	1,944	10.01
更生保護法人立川更生保護財団	1,331	6.85
株式会社三菱東京UFJ銀行	553	2.85
立川 光威	495	2.55
株式会社りそな銀行	460	2.37
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	411	2.12
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	386	1.99
日本生命保険相互会社	373	1.92
タチカワ社員持株会	361	1.86

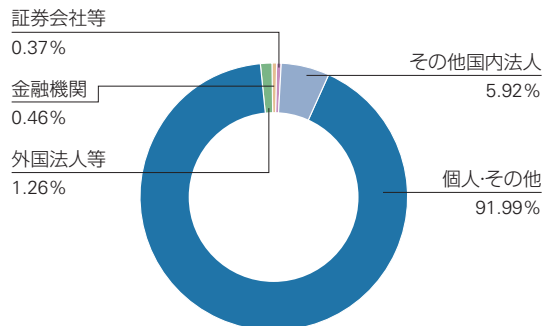
(注) 1. 千株未満は切り捨てて表示しております。

(注) 2. 当社は自己株式1,304千株を保有しておりますが、上記の表には記載しておりません。

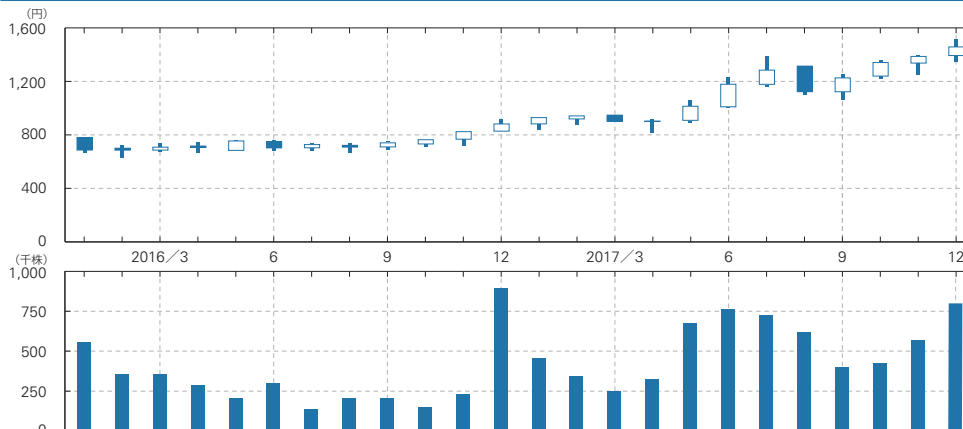
■ 所有者別持株比率



■ 所有者別株主比率



■ 株価および出来高の推移



当社ホームページでは決算短  
信などのIR情報や、当社事業  
や製品・サービスなどさまざま  
な情報を発信しております。

<http://www.blind.co.jp>



## 株主優待のご案内



〔優待内容〕クオカード（イメージ）



### ① オリジナルクオカードの贈呈（300株以上保有の株主様）

基準日：12月末日（年1回）

所有株式数・保有期間に応じて、オリジナルクオカードを以下の通り贈呈いたします。

所有株式数	保有期間	3年未満	3年以上
300株以上 500株未満		1,000円分	1,500円分
500株以上 1,000株未満		2,000円分	2,500円分
1,000株以上		3,000円分	4,000円分

### ② 当社対象製品ご購入優待（100株以上保有の株主様）

基準日：6月末日・12月末日（年2回）

当社製品をご購入いただいた株主の皆様へ所有株式数・購入台数に応じて、以下の通り贈呈いたします。

所有株式数	優待内容
100株以上 300株未満	当社製品購入1台まで、1台あたりクオカード2,000円分贈呈
300株以上 500株未満	当社製品購入2台まで、1台あたりクオカード2,000円分贈呈
500株以上 1,000株未満	当社製品購入3台まで、1台あたりクオカード2,000円分贈呈
1,000株以上	当社製品購入5台まで、1台あたりクオカード2,000円分贈呈

事業年度 1月1日～12月31日

定時株主総会 毎年3月

定時株主総会基準日 12月31日

剰余金配当基準日 12月31日（期末配当）  
6月30日（中間配当）

公告方法 電子公告によります。  
公告掲載URL

<http://www.blind.co.jp/koukoku/>

※事故その他のやむを得ない場合は、日本経済新聞に掲載いた  
します。

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社

同事務取扱場所 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 証券代行部

特別口座管理機関 日本証券代行株式会社

単元株式数 100株

#### 登録情報（ご住所、配当金振込先など）の変更、その他諸手続きについて

一般口座の株主さまは、お取引口座のある証券会社にてお取扱いしております。  
特別口座の株主さまは、特別口座管理機関 日本証券代行（株）へお問い合わせ下さい。

#### 配当金の受取りについて

配当金領収証をお近くのゆうちょ銀行または郵便局へお持ち下さい。  
また今後、銀行振込をご希望の方は、お取引口座のある証券会社等または特別口座管  
理機関 日本証券代行（株）へお問い合わせ下さい。

#### 未受領の配当金の受取りについて

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行（株）証券代行部までお問い合わせ下さい。

#### 単元未満株式（100株未満の株式）の買取・買増請求について

一般口座の株主さまは、お取引口座のある証券会社にてお取扱いしております。  
特別口座の株主さまは、特別口座管理機関 日本証券代行（株）へお問い合わせ下さい。

#### 特別口座から一般口座への株式振替のお願い

特別口座管理機関 日本証券代行（株）へお問い合わせ下さい。

注）特別口座のままでは市場において株式を売却することはできませんので、必ず証  
券会社に一般口座を開設（既に開設されている場合不要）し、特別口座から一般  
口座へ振替申請を行って下さい。

## >> 郵便物送付先・お問い合わせ先

#### 株主名簿管理人

〒137-8081  
新東京郵便局私書箱第29号  
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
☎ 0120-232-711（フリーダイヤル）  
ホームページアドレス  
<http://www.tr.mufg.jp/daikou/>

#### 特別口座管理機関

〒168-8620  
東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
日本証券代行株式会社 代理人部  
☎ 0120-707-843（フリーダイヤル）  
ホームページアドレス  
<http://www.jsa-hp.co.jp/name/index.html>